

## 大原社会問題研究所五十年史

## Ⅴ 戦後

## 高野岩三郎氏の死去

一九四九年 昭和二四年 老齡と病患に耐えて、戦後は大原社会問題研究所の再建に苦慮し、さらに放送事業の民主化その他各方面に大きな足跡を残しつつ活動して来た高野岩三郎氏\*は、一九四九年四月五日ついに永眠した。享年七九歳である。大原社会問題研究所は、その創立以来の中心的経営者、すぐれた統計学者であると同時に教育者、不屈の指導者を失った。

\*戦後の高野氏の社会的活動—社会主義政党結成への呼びかけ、日本共和国憲法私案要綱の作成、憲法制定会議の提唱および放送ゼネストにおける努力等の詳細については、前掲『高野岩三郎伝』三八五ページ以下を参照されたい。

五月八日、東京・築地本願寺において葬儀がとりおこなわれた。

同月二五日、工業クラブにおいて、大原社会問題研究所と、日本放送協会の共催で、追悼会が催された。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#)← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 →[次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)